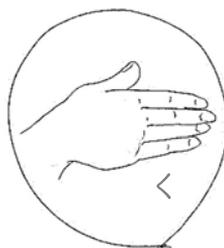


令和7年度版

# 福祉教育ハンドブック



ふ だ ん の  
●●●● ●●●● ●●●● ●●●●  
○●○● ○●○● ○●○● ○●○●

ふだんの



く ら し の  
●●●● ●●●● ●●●● ●●●●  
○●○● ○●○● ○●○● ○●○●

くらしの

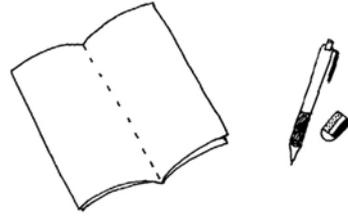
しあわせ

し あ わ せ  
●●●● ●●●● ●●●● ●●●●  
○●○● ○●○● ○●○● ○●○●





# もくじ



|   |    |
|---|----|
| はじめに .....  | 2  |
| <small>いっしょ えがお</small><br>一緒に笑顔で生きるために .....                           | 4  |
| <small>したい ふじゆう</small><br>I 肢体不自由 .....                                | 6  |
| <small>ちょうかくしょうがい</small><br>II 聴覚障害 .....                              | 12 |
| <small>しんけいはったつしょう はったつ</small><br>III 神経発達症(発達障害) .....                | 20 |
| <small>せいしん</small><br>IV 精神障害 .....                                    | 26 |
| <small>しかく</small><br>V 視覚障害 .....                                      | 30 |
| <small>としよ</small><br>VI お年寄り .....                                     | 38 |
| <small>にんちしょう</small><br>VII 認知症 .....                                  | 40 |
| <small>ぼうさい</small><br>VIII ふくしと防災 .....                                | 42 |
| IX マーク .....  | 48 |
| <small>しゃかいふくしきょうぎかい</small><br>X 社会福祉協議会ってどんなところ .....                 | 50 |
| <small>へんしゅうきょうりよくだんたい しゃ しりょうていきょう</small><br>イラスト、編集協力団体・者、資料提供 ..... | 52 |





わたしたちの暮らす知多半島南部のまち、南知多町・美浜町・武豊町には、約 80,200 人の人たちが生活しています。パツと顔が思い浮かぶ人は、何人ぐらいいるかな？ 意外に多いかもしれませんね。

あなたの家族、あなたの友達、友達の家族、近所のおじさんにおばさん。赤ちゃんから高齢の人まで、私たちのまちにも多くの方がいますよね。

でも、全く同じ顔・同じ体格・同じ能力・同じ考え方・同じ好みの人って一人もいないんじゃないかな。

そう！ あなたと同じ人は、この広い世界のどこにもいないのです。

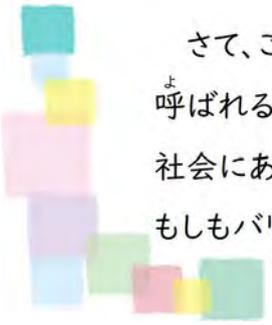


そして、できること・できないことも、みんな一人ひとり違いますよね。  
 男子だから、野球やサッカーが得意だったり、好きだったりとは限らない。  
 苦手な人、嫌いな人もいます。  
 女の子だから、料理ができると決めつけられるのも、何か変だよな。  
 「〇年生だから〇〇ができて当たり前」と言われると苦しいこともあるよね。

それなのに、「他の大勢のみんなができることをやらない・できないあなたが悪い！」と言われ、うまくできなかつたらクラスや学校、社会からはじきだされてしまう。それは悲しいことですよね。

誰だって、かけがえのない一人の人として幸せに生きていきたい。そして自分だけが幸せになるのではなく、家族だったり、友達だったり、自分以外の誰かの力になりたい、一緒に笑いたい、誰かを幸せにしたい。できないことばかりじゃなくて、できることもある。認められたい。仲間に入りたい。

それは人として、ごく当たり前の願いですね。これらの願いをみんながかなえられる社会がいいな、みんなで支え合うことが当たり前の社会にしようね、というところから「ノーマライゼーション」という考え方が生まれました。みんな、命と価値は平等なのです。



さて、この社会には、「障害がある人」がいます。実は、どんな人が「障害がある人」と呼ばれるかは、国によっても時代によっても違うのです。そして、本人の心身の状態と、社会にあるバリアの状況によって、「障害がある人たち」の生きやすさが変わります。もしもバリアが多いと社会からはじき出され、少ないと一緒に暮らすことができます。

では、何がどのようにバリアになるのかな。そのバリアを取りのぞく(バリアフリー)方法は何があるのかな。どんな社会だったらみんなが生きやすいのかな。

そこで、この「ハンドブック」では、同じ知多南部3町で暮らす障害がある人や高齢の人、一人ひとりの生活や暮らしについて、まとめてみました。「ノーマライゼーション」のこと、「バリアフリー」のこと、ぜひ、一緒に学び、考えてみましょう。

このハンドブック作成に関わった人たちは、「自分だけが生きやすい社会」を望んでいるわけではありません。「みんなが生きやすい社会」にしたいと思っています。

誰もはじき出されない社会は、あなたもはじかれません。あなたが大切だと思っている人も。そんな社会につながるといいな…と願ってこれを作成しました。

あなたも、あなたの周りの人も、誰もが、幸せになるために生まれてきました。

もちろん、幸せの形は一人ひとり違いますよね。でも、「自分が幸せだと思う人生の主人公として生きていきたい」、これは、家族も、友達も、近所の人、学校の先生も、子どもも、高齢の人、誰もがもっている願いです。そこで、このハンドブックのタイトル、「ふ・く・し」の出番です!



## ふだんの 暮らしの しあわせ



自分や、周りのひとたちが、<sup>す</sup><sup>な</sup>住み慣れたまちで、当たり前  
の幸せな生活をおくるためには、「ふくし」が必要です。

「ふくし」は、<sup>こうれいしゃ</sup>高齢者や子どもや障害がある人等、一部の人たちだけのものではありません。このまちで暮らす人たちみんなの「幸せ」を願い、どうしたらよいのかな…と力を合わせて考え、形にしていくことが「ふ・く・し」なんです。そして、あなたも「ふ・く・し」の大切な主人公です。



そこで、まずはあなた自身の「幸せ」を考えてみませんか。

自分の<sup>ちようしょ</sup>長所は何ですか?自分でほめてね!  
好きな場所はどこですか?  
何をしているときに幸せですか?  
いつかかなえたい夢は何ですか?

あなたが幸せに生きるために、何が必要なのかな?どうすればいいのかな?

その願いや、願いを<sup>はば</sup>阻むバリアは、他の人たちと同じという場合があるかも。自分の幸せを考えることが、みんなの幸せにもつながるならうれしいよね。大切な人たちと支え合って「ふ・く・し」のあるまちにしていきましょう!



わたし  
私たちの生きやすさは、社会にある「バリア」のあるなしで  
変わる・変えられることが何となくわかってきたかな？  
さて、障害しょうがいがある人たちの「バリア」のことも、一緒に考えて  
ほしいな。日本を飛び出して、世界とに目を向けてみるよ。

私たちの地球を守り、命くと暮らしを大切にするために、世界各国はさまざまな「約束やくそく」のもとに  
協力きょうりょくし合っているよね。その約束の形の一つに、国際連合こくさいれんごう（以下「国連」）が決めたと「条約じょうやく」が  
あるよ。「条約」とは、世界の多くの国が守る約束のことなんだ。



1945年、第2次世界大戦終戦直後に生まれた国連は、大多数の国が加盟かめいしている組織そしき。1948年  
に世界人権宣言じんけんせんげんで「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳そんげんと  
権利けんりについて平等である」と、みんなの人権を守ることの大切さを全世界に発信はっしんしたんだよ。

その後も国連は毎年総会そうかいを開き、すべての人々、子どもや女性、障害しょうがいがある人たちを守る  
ための条約を次々と決めたと。人間らしく生きることを阻むバリアはばを無くすためだね。

日本も、条約じょうやくに従したがって国内のすべての人の人権を守ることを世界に約束しているよ。  
さて、これらの条約のなかで、障害のある人となない人が平等に笑顔で暮らすための  
条約が、2006年に多くの国と一緒に決めた「障害者権利条約」だよ。

そして、この条約に込められた願いねがを日本でもかなえるために  
新たにできた法律ほうりつのひとつが「障害者差別解消法さべつかいしょうほう」なんだ。



## しょうがいしゃけんりじょうやく 障害者権利条約



「障害者権利条約」って  
障害がある人たちのための条約なの？

障害がある人たちもいない人たちもみんな平等びんぱうに大切にされ、共に笑顔で  
生きられる社会にするのが、この条約の目的もくてき。だから、みんなのためなんだね。

障害がある人たちが笑顔で生きていける社会は、すべての人が生きやすい  
社会。当たり前の暮らしを阻むバリアをみんなで力を合わせて無くそうよ。

そんな社会なら、あなたも自分のことを「普通ふつうと違うから」「少数派せうすうはだから」と我慢がまん  
する必要ひつようはないし、人生をあきらめずにすむかもしれないね。



しょうがいしゃさべつかいしょうほう  
**障害者差別解消法**



障害がある人たちと、障害がない人たちが  
一緒に笑って生きていける日本にしたいよね。

いつか自分や自分の大切な人が、障害がある人にな  
った時、差別されて辛い思いをするのはイヤだな。

この法律では何が決められているの？

障害がある人たちをその障害を理由にして、「あなたには障害があるから  
ダメ」と差別することが禁じられているよ。

ところで、差別はダメって言われても、何が差別になるのかがわかりにくい  
かもしれないね。そんなときは、「同じ年ごろの障害がない人たちだったらダメって言  
われたり思われたりしないよね？」と考えると、少しわかりやすいかも。

さて、この法律のポイントのまずひとつが「**不当な差別的取り扱いの禁止**」。  
例えば、障害があっても一人で買い物ができる力があるのに、付き添う人が  
一緒にいないとお店に入れてくれない…とかね。

もうひとつのポイントが、下にも書いた「**合理的配慮**」なんだよ。



ごうりてきはいいりよ  
**合理的配慮**



障害がある人が、ない人と平等に暮らしたい、  
人間らしい当たり前の暮らしがしたいと思っても、  
日本の中には、まだまださまざまなバリアがあるんだよ。

行きたい場所へ行けない。危険や障害物がある。  
知りたいことを知ることができない。本人や家族が冷たい  
言葉を言われる…などのバリアだね。

障害がある人たちとそのまわりの人たちが人生を楽しむには、バリアを無くすための合理的な  
配慮が必要なんだね。この合理的配慮のなかには、みんなにもできることがたくさんあるよ。  
身につけてほしいな。そして、相手が求めた時は、一緒にバリアを無くしてくれるとうれしいな。

このハンドブックのあちこちに、「こんな合理的配慮があったらいいな」を  
示す😊印がついているよ。探してみましよう！



# I 肢体不自由

## 1. 「肢体不自由」ってどういうこと？

手や足や体幹(体をささえる部分)に障害があり、歩いたり、手や足を自由に動かしたり、同じ姿勢を保つことが難しいです。

生まれつき障害がある人・病気や事故など障害の理由はさまざまです。肢体不自由だけでなく、知的・内部・言語・聴覚・視覚などの障害をあわせもつ人もいます。

## 2. こんな生活を送っています

### 1) どんなコミュニケーション方法があるの？

言語障害がある人も多く、いろいろな工夫をしています。

- 電子手帳
- 携帯電話・スマートフォン
- タブレット
- じっくり聞きとる
- 文字盤
- トーキングエイド
- キーボードカバーのついたパソコンなど

工夫は物だけではないよね。



[文字盤]



[トーキングエイド]



[キーボードカバーのついたパソコン]

### 2) どんな仲間がいるの？

同じ障害があるメンバーで団体を作って活動をしている人もいます。

趣味をもっている人もたくさんいて、楽しんで活動している人もいます。

例：日曜大工・つり・写真

[カメラのシャッターを押す自助具]



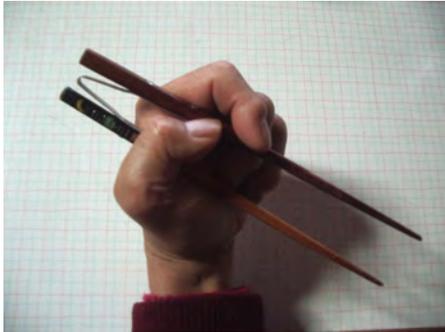
自助具とは、高齢者や障害者ができるだけ自分で生活ができるように助ける道具のことを言うよ。





## 5) 食事ではどんな工夫がされているの？

- 調理器具や台所を工夫して、自分で調理する人もいます。
- 介助をしてもらって、食べる人もいます。
- 自助具を活用して、自分で食べる人もいます。



[自助具を使っの食事]



[調理方法の工夫]

## 6) どんな場所で働いているの？

- 会社やお店などで働いている人、福祉の制度を利用して働いている人もいます。
- 講演会を行ったり、趣味に関する講座を開催したりしている人もいます。



[講演活動]



バリアフリーなどの条件を整えば、もっと多くの人  
が働けるようになります。



## 7) 学ぶところはどんなところ？

- 地域の小中学校
- 特別支援学校
- 大学・専門学校……と人によりさまざまです。

## 8) こんなことも知ってほしいな

- 「不随意運動」がある人が多くいます。自分の思っていることとは違う体の動きをしてしまうので、そばにある物や人にあたってしまうなど、一つひとつの動作にとっても時間がかかります。



：合理的配慮マーク

### 3. みなさんへのメッセージ

#### 『夢への挑戦』

みなさんは障害をもっている方を見かけたことはありますか？また、どういった印象でしようか？おそらく多くの方が「心配だ」など一人ではできることが少ない・助けが必要だという印象だと思います。確かに私は生活に必要なトイレ、お風呂、調理、外出が一人ではできません。しかし、私は障害の有無に関わらず、誰にだってできることやできないこと、また得意なことや苦手なことがあると思います。また障害というのは体や心だけでなく私達の身の回りに多く存在します。例えば階段や坂が急で登るのが大変、しんどい、道が狭く通りづらいといったことも立派な障害です。私は週5日内海で働いています。その内、週2日は電車で内海駅を利用しています。しかし内海駅にはエレベーターがありません。私が駅を利用することによってエレベーターを設置するきっかけになればと思い、駅を利用しています。

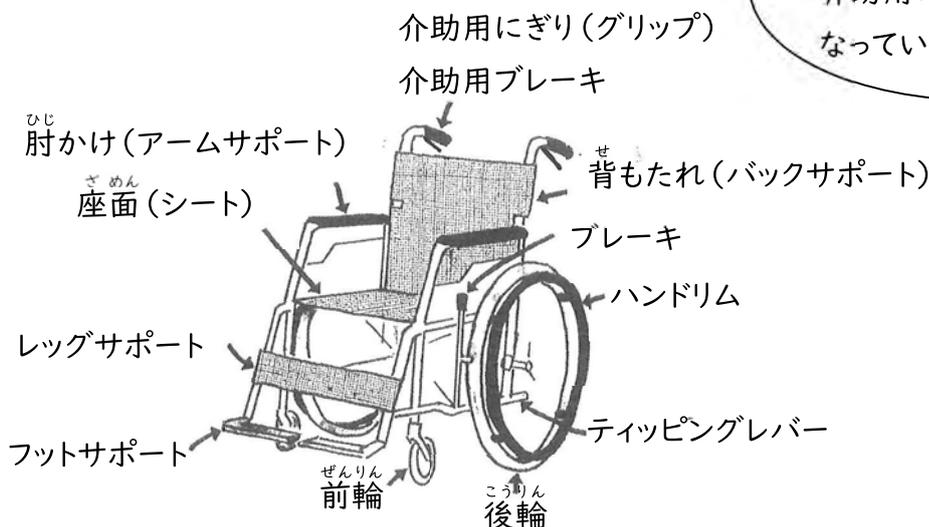
今はリフトを使い階段を上り降りしていますが、予約が必要だったり天候が悪くなるとキャンセルになったりと、不便があります。エレベーターが設置されれば、私のような車いすユーザーだけでなく、高齢者や観光客、妊婦または子ども連れなどの人々が、安心して駅を利用できます。障害をもっている方を見かけたら声をかけて「助ける」とよく聞かれますが、それだけではなく普段の生活の中で、暮らしやすい工夫に気づき、声を挙げることで、更なるふだんのくらしのしあわせが生まれます。共に築いていきたいです。



みはまちょうざいじゅう かみやひろと  
(美浜町在住・19才・神谷寛人)

### 4. 車いすについて

#### 1) 車いすの各部の名称と機能



介助用にぎりの下が  
介助用のブレーキに  
なっているものもあるよ。



## 2) 電動車いす

- 電動車いすは、手や足だけでコントロールができ、一人で移動することができる車いすです。
- 電動車いすのコントローラーは、手や足以外にも、あごや息でレバーコントロールできるものもあり、重い障害がある人の移動手段の一つとしても使われています。

電動と手動の  
切り替えレバー



### ☆ 切り替えレバー(クラッチレバー)

電動車いすには、電動と手動の切り替えレバーがついています。車いすの車種によってレバーがついている場所が違いますので切り替えを頼まれたら、必ず乗っている人に聞いてから行うようにしてください。

### ☆ 速度

歩道で皆さんが歩くスピードと大人が早歩きをするスピードに切り替えることができます。

### ☆ 重量

電動車いすは、人が乗ると100kgを超える重いものもあります。



まず始めに「何か、お手伝いできることはありますか」と一言声をかけていただけると嬉しいです。どんなサポートが必要なのかを聞いてください。手助けが必要ないときもあります。一人でのサポートや子どもだけのサポートは危険なときもあります。無理せず、まわりの人に声をかけてください。車いすやつえなどは体の一部です。遊んだり、勝手に操作をしないでくださいね。

### 3) 車いすの使い方

#### ☆車いすをひろげるには

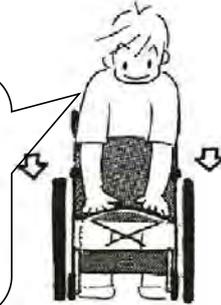
- ① ひじかけを左右に少し開きます。



- ② 座面を下に押しひろげます

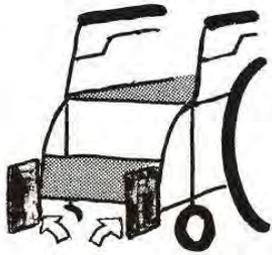
座面とパイプの間に手をはさまないようにします。

ブレーキでしっかり固定させ、フットサポートが上がっていることを確認してから、車いすへの乗り降りを行います。



#### ☆車いすをたたむには

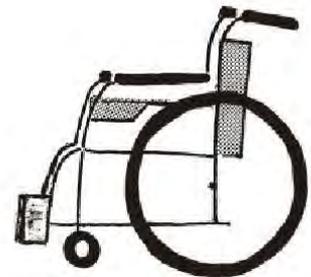
- ① フットサポートを上げます。



- ② 座面の中央をひきあげます。

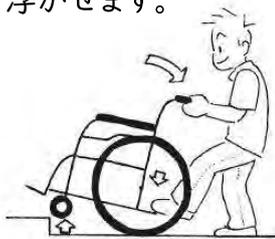


- ③ できあがりです。

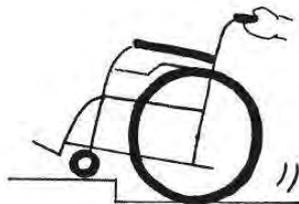


#### ☆ちょっとした段差をのぼる時には

- ① のぼる時はティッピングレバーを片足で踏み、前輪を浮かせます。



- ② 前輪を段差の上へのせます。



- ③ 後輪を段差にそってころがすように上げます。



#### ☆段差をおりる時には

- ① 車いすを段差に対して後ろ向きにし、ゆっくりと後輪を段差の下におろします。

- ② ティッピングレバーを踏んで前輪を浮かし、グリップを後方に引きまします。ゆっくりと前輪を着地させまします。



\* 道のすきま・電車とホームの間・踏切の線路の溝なども、段差ののぼりおりと同じ方法で前輪をあげ、そのまま進むと、乗り越えることができます。

## II 聴覚障害

### 1. 「聴覚障害」について

#### 1) 聴覚に障害がある人とは

- 耳が聞こえない人・聞こえにくい人のことを、聴覚に障害がある人といいます。
- 全く聞こえない人から少しなら聞こえる人、高い音だけが聞こえにくい人など、聞こえ方は人それぞれです。



- 耳鳴りに悩まされている人もいます。
- 聞こえの程度や、何歳の時に聞こえなくなったのか、どんな家庭環境だったのか、通った学校はどこだったのかによって、コミュニケーションの方法もいろいろです。

#### 2) 聴覚に障害がある人たち

##### ◆ろう者

(ろうあ者)



生まれつき、あるいはごく幼いときに耳が聞こえなくなった人たちです。

##### ◇中途失聴者

病気や交通事故、大きな音の聞き過ぎなどで、それまでは普通に聞こえていたのに突然聞こえなくなったり、少しずつ聞こえなくなったりした人たちです。



##### ◇難聴者

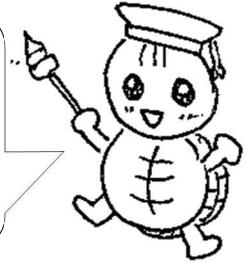


聞こえにくい人たちです。生まれつき難聴の人もいれば、病気になったり高齢になったりしたなどの理由で、聞こえにくくなった人たちもいます。



### 3) よく使うコミュニケーション方法・聞こえを補う方法は？

聴覚に障害がある人たちは、相手や場面に応じて、その時その場で利用できるコミュニケーション方法をすべて使います。横や後ろから話しかけられると聞こえず気がつかないので、**そっと肩をたたか、顔が見える所まで来て下さいね。**一緒に楽しくお話できるといいですね(^\_^)



|  |   |
|--|---|
| <p><b>○読話 (口話)</b><br/>相手の口の形や動きを見て、言葉を読み取る方法です。</p> <p>たまご...? たばこ...?</p>  | <p><b>○補聴器・人工内耳 (聴覚利用)</b><br/>補聴器は、音を大きくして聞こえやすくする機器です。耳につけて使います。<br/>人工内耳は、音を電気信号にする機器を体内 (内耳) に埋め込み、音を受信する機器を体外 (頭部) に着けて使います。ただし、聞こえにくさの程度が大きい人は、これらの機器を使用しても音を言葉として聞き取ることが難しいです。</p> |
| <p><b>○書いて伝える (筆談)</b><br/>紙や手のひらに、文字などを書いて伝える方法です。他にもパソコンや携帯電話・スマートフォン・タブレット、OHC等を使って伝える方法もあります。</p>                | <p><b>○空文字 (空書)</b><br/>空中に文字を書いて、伝える方法です。文字を裏返しに書くのではなく、紙に書くときと同じように自分から見て分かるように書きます。</p>  |
| <p><b>○音声による文字入力</b><br/>パソコンやスマートフォンへ音声で入力した話の内容を画面上に文字に変えて出す方法です。</p>  | <p><b>○指文字</b><br/>指を使って、日本語の五十音を表す方法です。物や人の名前などを表すときなどに使います。</p>   |
| <p><b>○手話</b><br/>手話は、みなさんが使う「日本語」と対等な「言語 (言葉)」の一つです。<br/>手の形だけでなく、目や顔など体の全てを使います。聞こえない人たちが周りの人と気持ちを伝え合いやすい言葉です。</p> | <p><b>○身ぶり・ジェスチャー</b><br/>日常よく使われるしぐさや、ものの動きなどを体全体を使って表現する方法です。</p>   |

## 2. こんな生活を送っています

### 1) コミュニケーションについて



聞こえる人も、聞こえにくい人も、聞こえない人も、コミュニケーション方法はいろいろ。聞こえ方や理解する力も人それぞれ。だから、コミュニケーションの方法も一人ひとり違っていいんです。その場にいる人同士、お互いにとって、楽に話し合えるコミュニケーション方法は何だろう?と考えることが大切です。



### 2) どんな仲間がいるの?

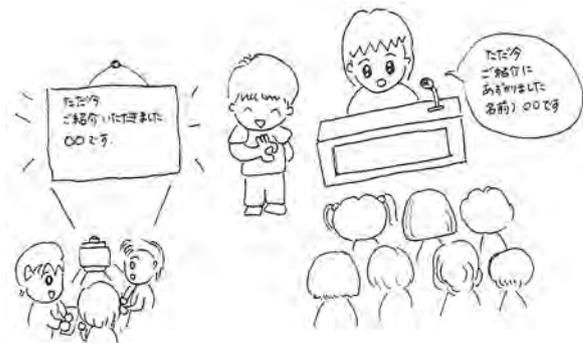
○同じ障害がある仲間の団体があり、情報交換や交流をしています。都道府県や全国レベルの団体として難聴・中途失聴者の団体と、ろう者の団体があります。

○要約筆記(話し手の言葉をまとめ、文字にして伝える取り組み)のグループや手話のサークルがあります。知多南部3町にも、各町に1つずつあります。聞こえない人たち・聞こえにくい人たち・聞こえる人たちが集まって楽しく交流したり学び合ったりしています。



[要約筆記]

○地域の活動や会合に手話通訳や要約筆記がつくと、本当の意味で参加(理解)することが可能になります。そこで新しい出会いがあり、仲間の輪を広げることができます。



### 3) 移動手段について伝えたいこと

○聴覚に障害がある大人の多くは自動車の運転をしています。



○以前の公共交通機関では、事故や到着時間の遅れの情報などの案内が、放送だけということが多く、分からずに困ることがよくありました。最近(さいきん)は駅や車内の文字による情報揭示システムも少しずつ増え、また筆談で対応する人も増え、以前より利用しやすくなりました。

○自転車のベルや自動車のクラクションの音が聞こえないので、道を歩く時は後方からの接近(せつきん)や横からの飛び出しを警戒し、緊張(けいかい)します。



：合理的配慮マーク

#### 4) スポーツの楽しみ方は？

- 耳が聞こえないからできないスポーツというのはほとんどありません。音以外の方法で合図をしたり、目で状況を判断する練習を積み重ねたりすれば、さまざまなスポーツを楽しむことができます。聞こえる人たちと一緒に試合をすることもあります。
- デフリンピックという国際的な「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」もあります。令和7年11月に初めて日本(in 東京)で開催されます。

※一般社団法人全日本ろうあ連盟のホームページ内に「デフリンピック」を詳しく紹介したページがあります。右のQRコードを見てください。



#### 5) 食事の場面で・・・



- 外食に行った時、例えば店員さんが紙とペンを用意してお勧めのメニューを紹介してくれたり、注文の内容を見せて確認してくれたり、いろいろ工夫してうまくコミュニケーションできるように考えてくれるお店だと、幸せな気持ちになります。



#### 6) どんな場所で働いているの？

- どうしても聴力が必要な仕事以外なら、聴覚に障害があってもできます。知多半島では自動車製造や住宅設備関係、理容師の仕事をしている人が多いです。
- 仕事の場では、「伝え合う」ということがとても大事になります。自分と周りの人たちとの間で、お互いにさまざまな工夫・努力をしあって働いています。その結果、聞こえる人も含めて職場のみんなが以前よりもきちんと伝え合えるようになった会社もあります。

#### 7) 学ぶところはどんなところ？

- 愛知県立の聾学校…聴覚に障害がある児童や生徒が学ぶ学校。みなさんの住んでいるところから遠い場所にあるので、親元を離れて寄宿舎に入居する子どももいます。
- 自分の学区の学校…耳が聞こえる近所の子どもと同じ学校へ通います。
- その他………特別支援学校や難聴学級のある学校に通う子どももいます。

#### 8) その他

- 日本では耳が聞こえにくいために困っている人が、7人に1人いると言われています。高齢になり、聞こえにくくなる人も多いのです。音声のみではなく、文字や手話や絵などいろいろな方法で、みんなが情報を共有でき安心できる社会にしたいですね。

### 3. みなさんへのメッセージ

#### 『小さなきっかけ』

私は生まれつき片耳が聞こえず、聞こえているもう片方の耳だけで生活しています。しかし、そのせいで小学校の頃は話も半分位にしか聞こえず、周りは何の話をしているのかよくわからない、そんな状態でした。そのため、会話が続きなくて差別され始めてしまい、学校に行くのが辛くなり情緒不安定になった時もあります。中学生になり、福祉実践教室に参加した際に、車椅子で生活する後天性の脊髄麻痺障害者に出会いました。その方は後天性の為バリアフリー対応ではなく、職場や家の中で慣れているはずの移動ができなくなりそれが辛いと話されました。

しかし、そんな自分の状況をなんとかしようと、何年もリハビリを続けて、今では足を曲げながらも歩行できている姿に衝撃を受けました。この人は頑張っているのに私は…という自己嫌悪になり、その姿を見てももう少し頑張ってみようと思えるようになりました。

年齢を重ねた今でも会話をするのは大変で、会話をしたくないというときもあります、小さなきっかけで頑張って自分から進んで会話を行うようになり、今では手話や要約筆記の存在を知り、暗く沈んでいた学生時代よりも明るく過ごすようになりました。

(半田市在住 30代 男性 成本高永)

昔から、「障害者には優しくしてあげなくてはいけないよ、手伝ってあげなさい」と教えられたり、そういう気持ちの人が正しいと思っている人は、今もまだ多いと思います。それでも障害のある人と付き合いが始まると、それは違うということにすぐに気がきます。

以前、聴覚に障害がある人と一緒に電車で出掛けたとき、話に夢中になって、降りる駅をうっかり見逃しそうになったことがありました。「ここで降りるのでは？」と教えてくれたのは、アナウンスの聞こえないその方だったのです。聞こえないからこそ、停車ごとに窓から駅名をしっかりと確認されていたからでした。つまり障害があってもなくても全く変わらないということです。同様なことは、他の障害がある人にも言えるのではないかと思います。身体のある部分に何らかの障害があっても、そのためにできないことがあっても、障害がない人ができないことをできるかもしれません。

障害者は、できないことが多いと思われがちですが、障害がある・ない関係なく、人は誰でも何らかの苦手なこと、できないことがあると思います。注意力が散漫になったり、気が付きにくかったり。

こう考えると、障害がある人・ない人と二つに分けて考えること自体がナンセンス（意味がない）かもしれません。そのような枠や壁を取り払ってしまえば、もっと人と人との本質的な付き合いができるのではないのでしょうか。

『「健常者」「障害者」の区別のない世の中（そのような言葉が存在しない世の中）が、自分の最終目標だ』と言われた、障害のある方の言葉が心に残っています。

(武豊町在住 70代 女性)



僕は生まれつき耳が聞こえません。生活するのは水の中にいるような感じです。ろう学校では手話が禁止されていて、勉強が難しかったです。

会社でも文章を理解するのが難しく、大変でした。同じように感じる人も多いです。会社で働くのも大変でしたが、他の耳が聞こえない人たちも同じように感じます。外から見ると、僕たちが困っていることが分からないので、助けてもらうのは難しいです。

学校や家で一人ぼっちになることもあります。でも僕たちは「かわいそう」と思われたくないです。僕たちにもできることがたくさんあるし、できないこともあります。だから一緒に考えて助け合うことが大切です。

手話を覚えるのは難しそうですが、実はそんなことはありません。日常生活で使える簡単な手話を覚えれば大丈夫です。僕たちみんなで手話を学んで、一緒に楽しい時間を過ごすことが僕たちの願いです。障害の有無に関わらず、すべての人が明るい生活を送れる未来を望んでいます。

耳が聞こえない人にも見える情報がもっと増えるといいなと思います。

みんなも手話に興味があったら、ぜひ来てくださいね!

(武豊町在住 60代 森田清弘)

「やあ、おはよう!元気?」みんなが手話であいさつできたら、どんなに素敵な町でしょう。町には色々な人が住んでいます。障害のある人もない人も。

人は人とつながるために、様々な方法でコミュニケーションを大事にしています。

わたしの仕事は、人と人を繋ぐちょっとしたお手伝い。「手話通訳」です。

みなさんにも、「伝わる喜び」知ってもらえたら嬉しく思います。

(武豊町在住)

私は、生後1歳半の時に高熱のため耳が聞こえなくなりました。20歳まで、ろう学校で学びました。社会人になって、「ろうの世界」と「健聴者の世界」の違いを知りました。

これまで情報が足りなかったことを知り、聞こえる人とも積極的にコミュニケーションをとる努力をしました。うまく伝わらなくて悔しい思いもたくさんしました。今では、職場で手話を教えたり、楽しく仕事ができています。

これからも、自分からの努力は惜しまず、みんなにも手話を使ってもらって楽しくできたらいいなと思います。

(武豊町在住)

## 4. 「要約筆記」<sup>ようやくひっき</sup>



文字で伝えるコミュニケーション方法の一つです。聞こえる人が、聞こえない・聞こえにくい人のために、その場で聞いた内容を「文字」で伝えます。

文字にする速さは話す速さより遅いので、大事なことをまとめます。これを「要約」といい、「要約筆記」とは話の内容などを《その場でまとめて文字で伝えること》です。



★こんな方法があります

○ノートテイク 紙に書いて伝える方法



\* OHCやパソコンを利用して、チームを組んでたくさんの人に伝える方法



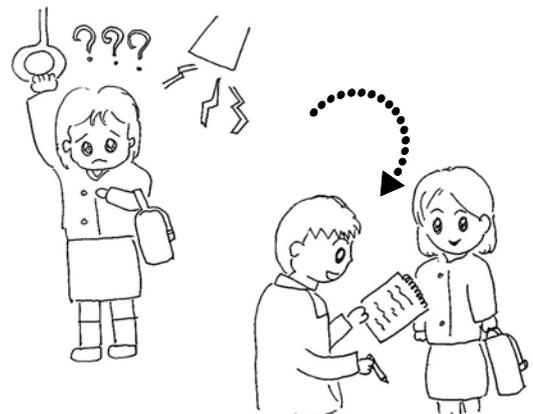
OHC  
(オーバーヘッドカメラ)

○パソコン画面による方法



\*OHC(オーバーヘッドカメラ)は、手元の書類をプロジェクターやディスプレイに大きく映す機器です。

★文字で何かを伝える時、気をつけることは、大事なこと、伝えたいことを短くまとめて、正しく、速く、読みやすい文字で書きます。難しく考えなくても、とにかく「伝えたい」という気持ちが大事です。



：合理的配慮マーク

# 5. 「手話」



「私」 「名前」 (手話や指文字で表現しましょう) 「よろしくお願いします」

# 6. 「指文字」 ★<sup>あいて</sup>相手から見た形です。自分の手を<sup>かがみ</sup>鏡に映すと<sup>うつ</sup>練習しやすいですよ。<sup>れんしゅう</sup>

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| あ | い | う | え | お | <small>だくおん</small><br>濁音(例:ぎ)<br><br>横に移動させる |
|   |   |   |   |   |   |
| か | き | く | け | こ | 半濁音(例:ぼ)<br><br>上に移動させる                       |
|   |   |   |   |   |   |
| さ | し | す | せ | そ | 促音(〇〇っ〇)<br><br>自分の方へ引く                       |
|   |   |   |   |   |   |
| た | ち | つ | て | と | 長音(伸ばす)<br><br>人差し指で「 」か「一」と空書き               |
|   |   |   |   |   |   |
| な | に | ぬ | ね | の | 人差し指で「 」か「一」と空書き                              |
|   |   |   |   |   |   |
| は | ひ | ふ | へ | ほ |   |
|   |   |   |   |   |   |
| ま | み | む | め | も |   |
|   |   |   |   |   |   |
| や |   | ゆ |   | よ |   |
|   |   |   |   |   |   |
| ら | り | る | れ | ろ |   |
|   |   |   |   |   |   |
| わ | を | ん |   |   |   |
|   |   |   |   |   |   |

### Ⅲ 神経発達症（発達障害）

#### 1. 神経発達症ってなんだろう？

脳のはたらきによって、学校やふだんの生活で困りごとが生じていることです。発達障害とも呼ばれていました。ここではアメリカ精神医学会の考え方にそって紹介します。

神経発達症には、知的発達症、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症などがあります。

#### 1) 知的発達症って？

ものごとを順番に考えたり、難しいことを解決したり、イメージやルールなど形のないものを考えたりなど、頭の中で考えることや覚えることが難しいことを言います。おうちや学校、地域などでは、誰かの助けが必要になることも多いです。だいたい18歳ごろまでにおこります。知的能力障害（知的障害）と言うこともあります。

#### 2) 自閉スペクトラム症って？

他の人と会話のやりとりをすることや、人の気持ちを想像することが苦手だったりします。ふだんとは違うことにとっても混乱したり、ある決まったことにとっても関心があることもあります。中には匂いや光、音などを他の人よりも強く感じやすい人もいます。

#### 3) 注意欠如多動症って？

①勉強などでミスが多かったり、忘れものやなくしものが多かったり、やらないといけないことを忘れてしまうことがあります。②じっとしていることが難しかったり、自分の順番を待ったり、列に並んで待つことが苦手だったりします。

①と②のどちらかだけが当てはまる人もいれば、①と②のどちらにも当てはまる人もいます。

#### 4) 限局性学習症って？

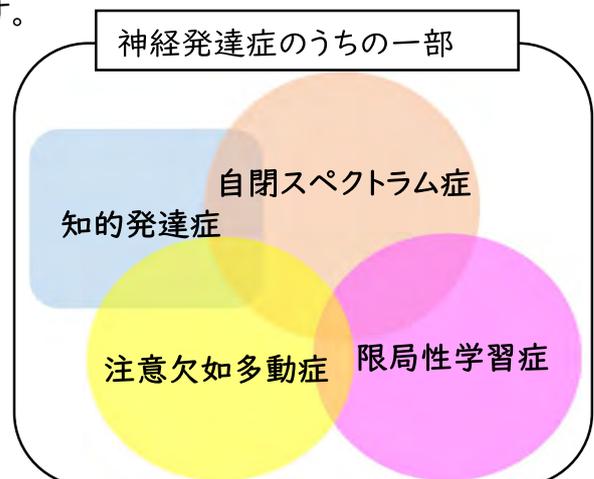
（頭の中で考えたり、覚えたりすることができても）音読するとき間違いが多かったり、時間がかかったり、文章を読んで理解することが難しかったりします。また読むことだけでなく、字を書いたり、計算したりすることが特に苦手を感じる人もいます。

○知的発達症と限局性学習症の2つ以外は、一緒におこることもあります。

ゆっくりだけど、出来ることは増えていきます。  
外見からは、難しさが見えにくいですが、  
みんなと同じように接してください。



 : 合理的配慮マーク



## 2. こんな生活を送っています



周りのサポートがあるとみんなと同じように暮らせます。



[写真でのスケジュール]

### 1) どうすると分かりやすく伝わるの？

○耳からの情報より目からの情報のほうが分かりやすいことが多いです。

(写真・絵・文字・ジェスチャー・実物など)

○人によっては、単語等で短く簡単に伝えてもらうと分かりやすいです。



○抽象的な言葉や難しい言葉ではなく、なるべく具体的に

なっていると分かりやすいです。  
例:「ちょっとまってね」ではなく「10秒数えてまってね」

○オウム返し

他の人が言った言葉が理解できず、聞いた言葉をそのままくり返して言います。



例:写真や絵や指差し、短い言葉を使って具体的に伝えてください。

言葉遊びを楽しんでいる場合があります。



例:温かく見守ってください。また、静かにする必要がある場面では、口の前に人差し指をあてて見せて静かにするよう教えてあげてください。



### 2) みんなとの関わり方は？

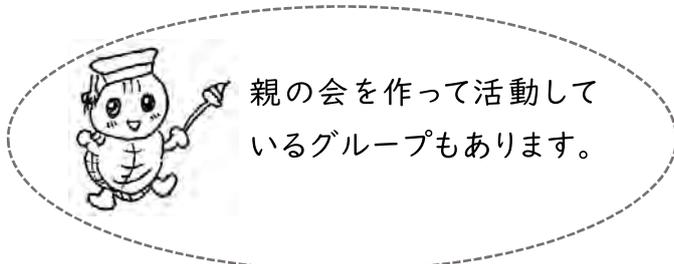
○社会のルールの理解が難しい人もいます。

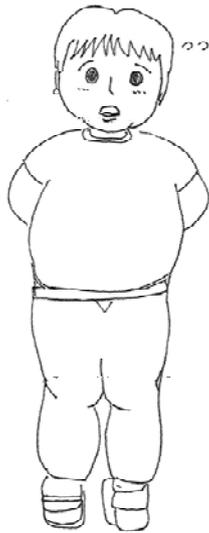


(写真や絵・文字でわかりやすく伝えてください)

○集団が苦手な人が多く、2,3人など小さなグループの方がリラックス出来る人もいます。

○同じ遊びをくり返す人もいます。



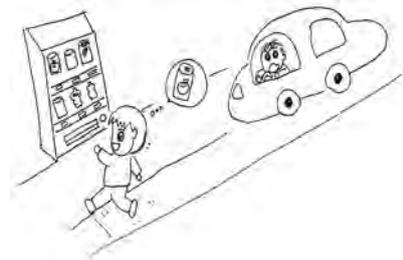


相手の気持ちを読み取ることが  
難しく、思ったことを口にして  
しまいます。  
なぜ良くなかったのかを説明  
してくれると嬉しいです。



### 3) 色々な移動手段と気を付けることは？

- 交通ルールが理解しにくいので、危険を判断できず飛び出したりする人もいます。
- 色々なことが気になってしまい、立ち止まり動けなくなったり、急に走りだしたりしてしまうことがあります。
- ヘルパーや家族についていってもらって、外出する人もいます。
- 自転車や車の運転ができる人もいます。
- 一人で電車に乗ることができる人もいます。



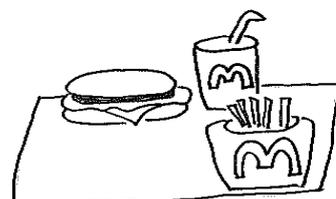
### 4) スポーツの楽しみ方は？

- ルールの伝え方の工夫と繰り返しの練習があると分かりやすいです。
- 集団のスポーツは、まわりの動きが気になってしまいます。

### 5) 料理をする時やメニュー選びの工夫は？

- 料理をするときは誰かと一緒にすることが多いです。
- レシピや動画があると、わかりやすいです。
- 料理が好きな人もいます。
- 外食でメニューを決めるときは、絵や写真で表示がしてあると決めやすいです。
- こだわりがあり、同じものでもメーカーによって食べられなくなる人もいます。

例:A店のハンバーガーは食べられるが、  
B店のハンバーガーは難しい。  
いつも同じだと安心するからです。



## 6) どんな場所で働いているの？

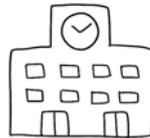
- 会社やお店などで働いている人、福祉の制度を利用して働いている人もいます。
- 趣味や芸術分野・研究などの専門分野で力を発揮する人もいます。
- 会社などで働くため、仕事の訓練を受ける人もいます。



こだわりをいかせば、強い関心を、仕事の能力に  
いかすことができる人もいます。

## 7) 学ぶところはどんなところ？

- 特別支援学校
- 地域の小中学校
- 大学・専門学校



## 8) こんなことも知ってほしいな

- それぞれに、こだわりや独特な行動があります。

例：手をひらひらさせる。

飛び跳ねる。体を前後する。

- 変化・変更が苦手です。

急に予定が変わることが難しかったり、新しい取り組みに対して不安が強くなったりする人もいます。

- 初めて行く場所は事前に見学に行くと安心できます。

- 特定の場所・物・形・順番・数字などに「こだわり」をもつ人もいます。

例：電車の時刻表や駅名を正確に覚えている。

スーパーで缶などの向きをそろえる。

例：いつも通っている道が工事等で行き止まりになっていると、

先に行けない。

- 感覚に鈍感だったり、敏感だったりする人もいます。

例：雑音や突然の大きな音が苦手です。

運動会のピストルの音、ハンドドライヤーの

音、掃除機の音



### 3. 本人にとって分かりやすくなる便利なグッズ（一例）

#### ○パーテーション



自分のことに集中できるような場所を作る



#### ○イヤマフ

まわりの雑音を聞こえにくくすることができます



#### ○タイマー

時間の終わりを教えてくれます



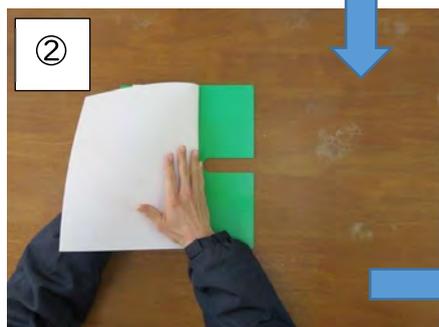
#### ○タイムタイマー

残り時間が目でみえるようになっています



#### ○紙折り機

紙を3つ折りにする道具です(自助具)



お仕事で使う便利なグッズを紹介するよ



：合理的配慮マーク

#### 4. みなさんへのメッセージ

##### 『就職して思うこと』

ぼくは特別支援学校を卒業し、就職してもうすぐ4年になります。

仕事は納期限内に製品を作るのが大変ですが、出来上がったときはうれしいです。職場の方はていねいに仕事を教えてくださいます。最近では始めから終わりまで一人で作業することもあります。

給料をもらって、鉄道模型やゲームなど自分で欲しいものを時々買っています。お金をためて、名鉄のすべての路線に乗ることが夢です。そのためにも仕事をがんばります。

ぼくのように障害のある人たちが働ける場所が増えるといいなと思っています。

(半田市在住 20歳 けいた)



##### 『やさしくなりたいという思い』

私は、他の人から見ると、普通の人のように見えます。しかし、目に見えない障害が私にはあります。それは、自閉症という障害。生まれた時から人とコミュニケーションをとることが苦手でした。

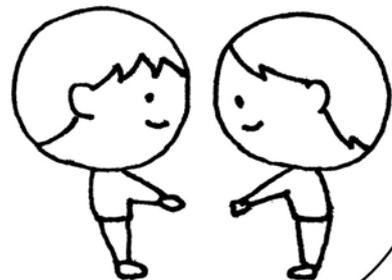
家族や友達には、自分から話しかけることが出来ます。しかし、初めて会う人と話すとなると、それが難しくなります。私は、小学5年生から中学3年生まで、クラスメイトから嫌がらせを受けました。もちろん、「嫌がらせをやめてほしいな」と思っていました。

しかし、クラスメイトに自分の思いを伝えることはできませんでした。

高校生になり、嫌がらせをしたクラスメイトとは離れ離れになりました。楽しい生活を送る中で、私の人生を変える出来事が起こりました。障害のある子どもとそのお母さん達が集まる「ふれあい交流会」に参加し、子どもたちの面倒を見る中で、ボランティアの学生さん達が子どもたちに優しくしていた様子を見たのです。その様子から、「自分も困っている人々に優しくなりたいな」と考え、どんな人にも優しくできる人を目指すために大学で学ぼうと決めました。

今では、日本福祉大学で友達と楽しい生活を送りながら、日々学んでいます。皆さんの周りには、常に人に優しくしている人はいますか？その人のように優しくなりたいと思えば、どんな人にも優しくすることができると思います。

(美浜町在住 18歳 F.T)



## 1. 「精神障害」ってどういうこと？

精神障害は、精神の「病気」と、それにとまなう「生活上の障害」があります。

### 1) 精神の病気について

病気といわれるものは、統合失調症、うつ病、依存症、パニック障害、認知症など、他にもいろいろあって、症状もさまざまです。でも外からは見えないので、理解されにくい病気です。体の病気と同じようにだれでもかかる病気です。



### 2) 障害について

人のお付き合いが苦手だったり、疲れやすかったり、ストレスに弱かったりなどの、生活のしづらさを抱えています。

毎日薬を飲んで定期的な通院をすることで、落ち着いて生活できます。



## 2. こんな生活を送っています

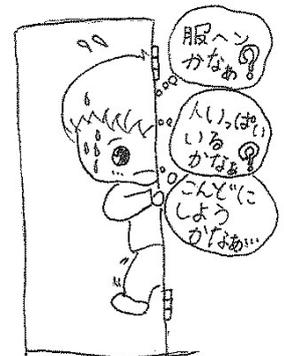
### 1) コミュニケーションについて

体調が良いときやいつもは困らないけれど、場合により、

- 人のお付き合いが苦手になる
- 疲れやすい
- ストレスに弱い
- 調子に波がある

以上のことから、話をすることが大変だったり、話がしたくて仕方がないときなどもあります。

また、人がたくさんいたり、安心できない場所では話せなかったり、慣れていない人とは話せなかったりする人もいます。



2つのことを同時にやるのは苦手だよ



不自由さをもって生活している人



人から見たら分からないけど、困ったこと、悲しいことなどの悩みを抱え続けて苦しい。考える余裕がないよ。

バランスをくずした状態

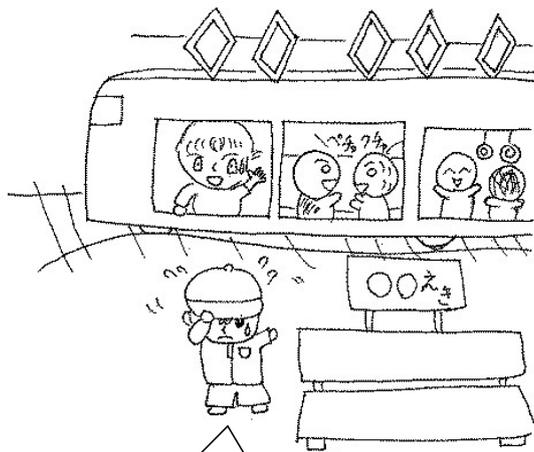


## 2) どんな仲間がいるの？

- 同じ悩みをもつ人たちだからわかりあえる部分が多いということで、病気をもっている仲間同士の会(当事者会)や家族の会があります。
- 「ピアサポート」という同じ仲間が支え合う活動もあります。



## 3) どんな移動手段があるの？



乗れない・・・  
人の目が・・・(こわい)  
緊張する・・・

歩いたり、電車を使ったりすることができます。  
ただ、外に出ること自体に緊張や不安を感じる人もいますし、まったく平気な人もいます。

人の目が気になっても、ヘッドホンで音楽を聴くなどの工夫をして電車やバスに乗る人もいます。

お出かけや遠い場所には、ヘルパーさんや家族についていってもらう人もいます。

## 4) スポーツの楽しみ方は？

いろいろなスポーツをそれぞれ楽しんでいます。

## 5) 食事について

みんなと同じです。



はじめは短い時間  
からなら大丈夫

病気の事を言えな  
い人もいるんだよ

## 6) どんな場所で働いているの？

会社やお店などで働いている人、福祉の制度を利用して働いている人もいます。

障害を理解してくれる職場や仕事があれば働けるという人、働きたい人も多くいます。



## 7) 学ぶところはどんなところ？

みんなと同じでいろいろな学校に行っています。

### 3. みなさんへのメッセージ

車いすを押すなどの介助はほとんど必要ありません。ただ周りの人の「自分とは違う、おかしいことをする人」といった誤解や、「怖い人」といった偏見が、精神障害者を生きづらくさせます。

障害があってもなくても、だれでもみんな「自分の住みなれた地域で、安心して過ごしていきたい」のは同じです。精神障害者も、当たり前で自分の地域でくらすような、豊かな地域を一緒に創っていきたいのです。一人ひとりが違って当たり前で、だからこそ一人ひとりがとても大切です。私たちは、そんなあたたかい地域をつくるための仲間です。



精神障害は、  
人間しかならないし  
なれないんだよ

#### 『私のお母さん』

わたしのお母さんは、精神の病気です。でも、病気だったと分かったのは大きくなってからです。

病気なので、寝ていることが多かったです。つらい顔をして、話をすることもできなくて、私にいつも「ごめんね」と言っていました。

他の子のお母さんはいつも元気なのにどうしてなのかな、私のお母さんも元気だといいのにと思いました。

でも、よくわからないけど、元気な時もありました。元気すぎてびっくりすることもあります。元気のあるお母さんには、思いっきりわがままを言ったり、けんかをしたりすることもありました。いろいろな所に連れて行ってくれたりもしました。

今思い出すと、どちらのお母さんも私のことをいつも考えていてくれました。

お母さんには、元気になってほしいけど、元気のないお母さんもいつも私の心配をしてくれる大切なお母さんです。



(10代 女の子)



## 『大学生だった私』

大学生だった私は、進路のことで悩んでいました。

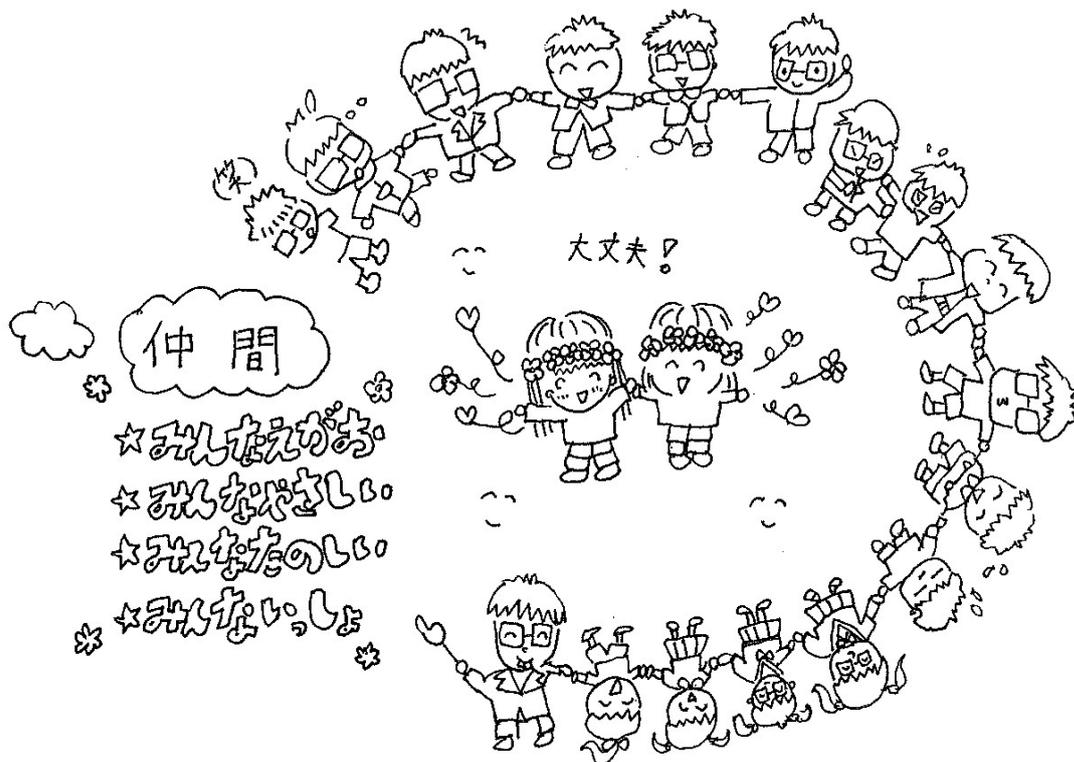
ある日、授業中に、教室のあちこちから、他の学生たちが私の悪口を言っているのを聞きました。自分の服装のこと、体型のこと、成績のことなどをけなす内容で、その声が重なってだんだん大きくなり教室中を包むくらいの騒音にふくれあがっていました。先生までが皆の前で私を批判しはじめ、とても授業どころではなく、私は思わず「うるさい」と大声で叫びました。すると、私の悪口を言う声は一瞬にして消え、自分が言った言葉だけが教室に響きました。

その後、心配した友人が保健室に連れて行ってきて、そこで紹介された精神科に受診することになりました。主治医の先生は優しく、大学でのいろいろなことの相談にのってくれるソーシャルワーカーさんもいらしたので、通院は楽しかったです。大学は半年休学しましたが、何とか卒業し、いろいろな仕事に挑戦しました。

でも初心に帰ると、私は本が好きだったので、病院に通いながら図書館司書の資格の勉強をして、今は学校の図書室で働いています。子どもたちと本の話をするのがとても楽しいです。

今では職場にも慣れて、たまにコンサートに行くなどして楽しんでいます。

(40代 女性)



# V 視覚障害

## 1. 「視覚障害」ってどういうこと？

視力検査表の上のほうにある大きな文字や符号がなんとなく見える、わかる人は弱視、全く見えない人は全盲です(かなり見えにくくても、めがねや、コンタクトレンズで見えれば、視覚障害ではない場合もあります)

このような人を視覚障害者といいますが、見え方の違いや目の不自由になった原因、時期もさまざまです。

弱視の人には、見える部分(視野)が狭かったり(視野狭窄)、視野の真ん中に見えない部分があったり(中心視野欠損)、明るいところがまぶしすぎたり(羞明)、ぼやけて見えたり(ぼやけ)、暗いところで見えにくかったり(夜盲)、いろいろな見え方の人がいます。



[正常]



[視野狭窄]



[中心視野欠損]



[羞明]



[ぼやけ]



[夜盲]

今は、生まれたときから見えない人より、事故やさまざまな病気から人生の半ばで視覚障害になる人が増えているんですって!



## 2. こんな生活を送っています

### 1) どうやって情報を得るの？

#### ○ 見てわかる(弱視の場合)

- ・電子ルーペ
- ・大活字本
- ・スマートフォン
- ・タブレット

・拡大読書器(字を大きくしたり、白黒反転する)



[拡大読書器]

※字を大きくしたり、白黒反転させることで、見えやすくなる人もいます。



合理的配慮マーク

○ 触れてわかる

- ・点字サイン
- ・点字シール
- ・点字図書

○ 聞いてわかる

- ・録音図書 (CD やインターネット上のサピエ図書館で提供されています)
- ・音声ガイド付きの演劇や映画 (スマホとイヤホンを使い、演劇や映画について説明する音声を聞くことができます)
- ・音声パソコン
- ・スマートフォン
- ・音声読書器
- ・スマートスピーカー
- ・対面朗読サービス



[エレベーターの点字サイン]



○ コミュニケーションを支えるボランティア

- ・本などを点訳、音訳する。直接、対面で朗読する。映画や演劇・公演の様子を声で放送する。
- ・町の広報紙などを「声の広報」として、テープやCDに録音して伝える。

## 2) どんな仲間がいるの？みんなとの関わり方は？

同じ悩みを語り合うサークル、外出を支援するガイドボランティアや同行援護従業者、  
自助具製作グループ、名古屋ライトハウス情報文化センターなどを利用しています。

## 3) いろいろな移動手段と気をつけることは？

○ ガイドヘルプの利用

視覚障害者を誘導することを、ガイドヘルプと言い、一緒に歩く人の肩や肘に触れながら歩きます。また、食事・トイレ・買い物など外に出たときに必要な支援も行います。



[ガイドヘルプ]

○ 白杖の使用

視覚障害者が外出するときに使う白い杖のことです。白杖を持っていることで、まわりの人に視覚障害者であることがわかります。白杖を左右に振って、杖の先で2歩前方の安全を確かめながら歩きます。そのとき、通路や駅のホームなどに点字ブロックがあると助かります。でも点字ブロックの上に、自転車や荷物を置かれるとたいへん困ります。



[白杖]

[点字ブロックの例]



[警告ブロック]



[誘導ブロック]



## ○ 盲導犬

視覚障害者を案内するために訓練された犬で、外出の時は、ハーネスという道具を犬の体に取り付けて歩きます。盲導犬を使用する人は2~4週間ぐらい、訓練センターで犬のお世話をしたり、一緒に歩くための訓練を受けたりします。視覚障害者は、盲導犬を同伴して飲食店やスーパーを利用することが法律で認められています。



😊 盲導犬がハーネスをつけて目の不自由な人と一緒に歩いているときは仕事中です。  
こんなとき、みなさんも協力してほしいことがあります。



食べものを  
あたえないでね



体にさわったり  
頭をなでたり  
しないでね



ボクに会ったら  
話しかけないで  
やさしく見守ってね

※写真提供：中部盲導犬協会



## 4) スポーツの楽しみ方は？

視覚障害者のパラリンピック競技は、陸上競技、水泳、2人乗り自転車、ブラインドサッカー、ゴールボール、柔道、ボート、馬術、スキーなどです。

マラソンでロープを持っていっしょに走る人をガイドランナー、水泳において壁に当たらないように棒でタッチする人をタッパー、サッカーにおいてゴール後ろで声をかける人をコーラーといいます。このようなさまざまな人のサポートとルールを工夫することで、ここで紹介した競技以外にもいろいろなスポーツを楽しんでいます。



[伴走者と走るランナー]

※写真提供：なごや楽走会



:合理的配慮マーク

## 5) どうやって調理をするの？

炊事は黒い茶碗、黒いまな板など、見たいものが見えやすくなる道具を選び工夫しています。調理するときは火を使うので、特に注意深く行います。仕上がり具合は、音、におい、トングや菜箸などからの感触で判断できます。料理の材料や日用品などをインターネットで注文したり、宅配サービスを利用したりすることもできます。



[白いごはんと黒い茶碗]

## 6) どんな場所で働いているの？

以前ははりや灸を使って体の調子を整える鍼灸師やマッサージの仕事につくのがよくあることとされていましたが、現在ではパソコンを活用して会社の事務職につく人や、教師・プログラマー・パソコンのインストラクター・ピアノ教師・図書館司書・弁護士など、さまざまな分野で活躍しています。支援機器を取り入れたり、サポートする人を配置したりするなど周りの環境を整えることにより、仕事の幅は広がってきています。



[鍼灸師]

## 7) 学ぶところはどんなところ？

生まれつき目の不自由な人は、愛知県立名古屋盲学校などの盲学校で授業を受けたり、名古屋リハビリテーションセンターなどの訓練施設で点字やパソコンを学んだり、歩行訓練をしたりしています。大人になってから目が不自由になった人も、ここで紹介した施設で学びます。

## 8) こんなことも知ってほしいな

白杖を持った人のなかには、スマートフォンを使っている人もいます。それを見て「見えないはずなのにおかしいなあ？」と思わないでください。弱視の人は、画面の文字を大きくすれば見える場合があります。全く見えない人は、画面の文字を音声にして聞きながら使っています。

### [暮らしやすくしてくれる道具や自具]

日常の動作を出来る限り、自分で行えるように特別に工夫された道具があります。音声のついた時計・はかり・体温計・血圧計、針などをさわって時間が分かる触時計、商品のラベルを読み上げたり、音声や振動で道案内をしてくれるスマートフォン、しるしでシャンプー・リンスのどちらなのかが分かるボトル、大きさが小銭の種類が分かるコインケースなど、最近ではたくさんの便利グッズが売られています。

また、それぞれの人に合わせた道具をボランティアの人に作ってもらうこともあります。



[触時計]



[しるし付きシャンプーボトル]



[コインケース]

### 3. みなさんへのメッセージ

#### 『一步踏み出す勇氣』

私は 20 代前半のころ、お医者さんから「だんだん見えにくくなって、いつかは何も見えなくなるかもしれません」と言われました。とてもショックでしたが、しばらくはふつうの生活ができていました。

しかし、15 年くらい前から症状が進み、車の運転や仕事、大好きなことが少しずつできなくなりました。「もうできないことばかりだ…」と思うと悲しくなって、外に出るのが怖くなりました。

そんな中、「完全に見えなくなる前に白杖はくじょうを使う練習をしたほうがいいのでは？」と考えるようになりました。でも、まだ少し見えているのに白杖を持つのはイヤだな…と悩みました。そこで社会福祉協議会しゃかいふくしきょうぎかいに相談すると、視覚障害者ボランティア団体「あいこむ」を紹介されました。そこで「白杖はくじょうを使うのは全盲ぜんもうの人だけじゃないんだよ」と教えてもらい、安心しました。仲間があたたかく迎えてくれたので、白杖を持つ勇氣が出ました。

それから、私の世界は大きく変わりました!みんなと楽しくおしゃべりしたり、福祉実践教室などに参加したりして、視覚障害があっても、「できること」がたくさんあることを知りました。

これからも「できないこと」ではなく「できること」を考えて、前向きに生きていきたいと思います。そして、私と同じように悩んでいる人に、「勇氣を出して一步踏み出せばきっと世界は変わるよ」と伝えていきたいです。  
(武豊町在住 女性)

18歳さいで網膜色素変性症もうまくしきそへんせいしょうと言う目の病気を告知され、その後就職結婚しゅうしょくけっこん、出産しゅっさん、子育てと家族や友達、近所の人たちにも理解りかいしてもらい、いろいろ支援もしてもらって 40 年過ごしてきました。今は、明るい、暗いていどの光がわかる程度ていどでほとんど全盲ぜんもうになっています。

白杖を持って、歩行もしていましたが、だんだん見えなくなってくると、不安も増してきて、だんだん出歩くのも億劫おっくうになり、ひとりで歩くことも少なくなってきました。目の見え方が悪くなるにつれ、その中で盲導犬もうどうけんと歩いてみたいなーと思うようになりました。

今は盲導犬とともに散歩に行ったり、買い物に行ったりととても楽しく、そして、何よりも見えていた時のように歩く速さが速くなったのがとても感激かんげきでした。

盲導犬は、段差や曲がり角を教える、障害物を避ける、と言う訓練を受けていますが、ナビではないですし、行きたい場所へ連れて行ってくれるわけでもありません。

盲導犬を持って、一番困っている事はまだまだ盲導犬のことを知っている人が少なく、飲食店や宿泊先などで、犬はダメですと断られることがまだ多くあることです。

店に入るのを断られると、私自身も入るのがダメと言われているような気持ちになります。街まちで盲導犬を見かけたら、暖かく見守ってください。そして困っていそうなら、犬にではなく人に声をかけてください。  
(常滑市在住 50代 女性)





## 4. 視覚障害者ガイドヘルプ

目の不自由な人にとって、外出することは、大変難しいことです。ガイドの人とのコミュニケーションによって、安全、安心に楽しく外出できるのです。

### ☆ 平らなところをガイドするときは



自分の肘や肩を持ってもらいましょう。目の不自由な人は、持ったところを通してあなたの進むスピードや方向が分かり、安心して歩くことができます。あなたと目の不自由な人が並んだときの二人分の幅に気を配りながら、その人の少し前をいつもどおりの姿勢で歩きましょう。

二人分の幅がとれないところでは、肘を背中に回して狭いところであることを合図します。

### ☆ 階段をガイドするときは



階段をガイドするときは、特に安全に注意しましょう。平らなところをガイドする姿勢のまま、階段の前で一度止まって「階段を上がります（降ります）」などと、はっきり言葉をかけて、一段先に上り（降り）始めましょう。階段が終わったところでも一度止まり、声で知らせましょう。

手すりがあるところでは、持つかどうかを聞いて、必要などときには、手を手すりに導いてあげましょう。

### ☆ 物の位置を伝えるときは



「6時にサンドイッチのお皿、3時にジュース」など、体の前のテーブルを時計の文字盤にたとえて説明すると分かりやすいでしょう。

この方法をクロックポジションと言います。

「手前にサンドイッチのお皿、その右にジュース」といった説明の方法もあります。「そこ」「あそこ」では分かりません。言葉だけで方向や場所を教えるときは、「右（左・前・後ろ）に〇〇メートルくらいのところ」などと具体的に伝えましょう。



# 点字一覧表 (凸面)

この表は読む場合ばあい  
(凸面から見た形)を示す。しめ

五十音

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| あ | い | う | え | お |
| か | き | く | け | こ |
| さ | し | す | せ | そ |
| た | ち | つ | て | と |
| な | に | ぬ | ね | の |
| は | ひ | ふ | へ | ほ |
| ま | み | む | め | も |
| や |   | ゆ |   | よ |
| ら | り | る | れ | ろ |
| わ |   |   |   | を |
| ん | っ |   | ー |   |

にごる音など (濁音・半濁音)

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| が | ぎ | ぐ | げ | ご |
| ざ | じ | ず | ぜ | ぞ |
| だ | ぢ | づ | で | ど |
| ば | び | ぶ | べ | ぼ |
| ぱ | ぴ | ぷ | ぺ | ぽ |

小さい「や・ゆ・よ」がつく音 (拗音など)

|    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| きゃ | きゅ | きょ | ぎゃ | ぎゅ | ぎょ |
| しゃ | しゅ | しよ | じゃ | じゅ | じょ |
| ちゃ | ちゅ | ちよ | ぢゃ | ぢゅ | ぢょ |
| にゃ | にゅ | にょ |    |    |    |
| ひゃ | ひゅ | ひょ | びゃ | びゅ | びょ |
| みゃ | みゅ | みょ | ぴゃ | ぴゅ | ぴょ |
| りゃ | りゅ | りょ |    |    |    |

## 数字

|    |     |      |    |   |   |   |   |   |   |    |
|----|-----|------|----|---|---|---|---|---|---|----|
| 1  | 2   | 3    | 4  | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | 数符 |
| 10 | 100 | 1000 | 1万 |   |   |   |   |   |   |    |

## アルファベット

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | b | c | d | e | f | g | h | i | j |
| k | l | m | n | o | p | q | r | s | t |
| u | v | w | x | y | z |   |   |   |   |

## おもな記号

|        |       |   |   |
|--------|-------|---|---|
| 。      | 、     | ? | ! |
| 第1カギ   | 第1カッコ |   |   |
| 第1つなぎ符 |       |   |   |

|    |    |    |      |
|----|----|----|------|
| cm | kg | CD | NASA |
|----|----|----|------|

※参考 にほんてんじふきゅうきょうかい 日本点字普及協会



※『ひとりて学べるたのしい点字』



点字についてよりくわしく  
学ぶことができます。

## VI お年寄り

### 1. 「お年寄りになる」ってどういうこと？

私たちは、年齢が高くなると、目が見えにくくなったり、耳が聞こえにくくなったり、身体を動かすにくくなったりと身体にいろいろな変化が現れやすくなります。

また、身体の変化とともに物忘れが増えたり、まわりのことに関心がなくなったり、心の変化も現れやすくなります。年を重ねるにつれて現れる変化を老化といいます。

多くのお年寄りの方は、年を重ねても元気で生きがいをもって生活していますが、中には介護が必要なお年寄りの方もいます。

### 2. 自分が80歳になったらどんな生活をしているだろうか？

年齢が高くなると次のような症状があります。

例えばこんな症状



例えばこうしてくれると嬉しいな

頭：物忘れが増えてくることがある。

⇒ その都度、説明をする。メモを残す。

目：近くや小さな文字が見えにくくなる。

⇒ 大きな文字で書く。読み聞かせをする。

耳：高い音や言葉が聞き取りにくくなる。

⇒ ゆっくり大きな声で伝える。

歩行：足腰が弱くなり杖が必要になる。

あせ  
焦らせない、急がせない。

関節が固くなり歩きにくくなる。

すわ  
⇒ 座れるように、いすを用意する。

◆上の症状をみて、自分が80歳になったときのことを想像してみよう！

- ・ 近くや小さい文字が見えにくくなったらどうなる？
- ・ 高い音や言葉が聞き取りにくくなったらどうなる？



ごうりてきはいりよ  
：合理的配慮マーク

### 3. みなさんへのメッセージ

私たちの若いころは食べ物や住む家がないなど苦労しました。

学校に行って勉強もしましたが、学校でも食べ物がなく、机の上で勉強するよりは、家族や地域の方々から畑などのやり方を教えてもらって働いていました。

近くの川から土を運んで芋や麦を作って、近所の人たちと食べ物を分け合い、時には物々交換もしながら助け合ってきました。しぜんと近所の方たちと優しい挨拶をする間柄になり、楽しく過ごせました。

厳しいこともありましたが、今思えば、楽しく生きられたのだと思います。

今のような娯楽はなかったけど、いろいろな人や場所と接しながら、自分で楽しみを見つけて過ごしていたから、素敵な思い出がいっぱいです。

年を重ねて体力が衰えたり若いころのように動けない時もありますが、いまでも周りの人と協力しながら、なかよく過ごしていきたいと思っています。

皆さんもご家族や学校以外の人とも楽しい関係を作って「なかよくたすけあい」をしていきましょう。

美浜町 介護施設利用のお年寄り



高齢となり体力が衰えたり、体が不自由になったりする人もいますが、感謝と尊敬の心を忘れないようにしましょう。



〔障害のある方とお年寄りの方との交流の様子〕



〔保育園の子どもたちと一緒に芋掘りを通じた交流の様子〕

## Ⅶ 認知症

### 1. 「認知症」とは？

誰にでも起こる可能性があり、特にお年寄りになると起こりやすいのが「認知症」です。

認知症は、さまざまな原因で脳の細胞が少しずつ死んでいく、また働きが悪くなることで起こります。脳のどこの細胞が死んでしまったのかによって出てくる症状はさまざまです。

その中で代表的なものが「覚えられない」「忘れてしまう」という症状です。具体的には、もの忘れが多くなり、時間や場所がわからない、料理や片付けができないなど、できていたことができなくなったり、一人では生活がしにくくなったりしてきます。このような状態を「認知症」といいます。

認知症の進み方や治療方法、年齢などによって、できる事できない事は人それぞれ違いがあります。



「認知症」について、武豊町、美浜町、南知多町では、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方々に認知症のことを知ってもらうために、『認知症サポーター養成講座』を開催しています。この講座は「認知症の人と一緒に安心して暮らせるまち」って何だろう」とみんなで学び、考えます。



ロバ隊長 (認知症サポーターキャラバンのマスコット)

認知症サポーターの仲間たちの隊長として、認知症の啓発活動のために活躍しています。ロバのように急がず、しかし一步一步着実に、認知症の人やその家族への理解が深まると良いという意味が込められています。



### 2. 想像してみよう！

- ・ もし数分前のことが思い出せなくなったらどんな気持ち？
- ・ あなたが道に迷ったらどんな気持ち？



合理的配慮マーク

### 3. みなさんへのメッセージ

私は明るく楽しく怒らず心を掛けています。楽しい気持ちになるためにはまず笑うこと。笑顔は周りも楽しくします。私の周りは家族も近所もみんな優しいです。

自分も何かお返ししたいと思い、エコキャップ活動に参加しています。難しいことはできませんが、洗ったり、数えたり簡単なことはできるので、楽しく行っています。一緒にやる仲間もいて、今では20万個以上200人以上のワクチンになっていると聞き、うれしく思います。

オレンジ体力キャップ隊のメンバー



オレンジ体力キャップ隊のメンバーには、認知症により、食事の準備や季節に合った着替えができず、家族に手伝ってもらう方もいます。散歩に出ると帰ってこれるか心配な方もいます。しかし、認知症の人ができることや持っている素晴らしい力を発揮してもらい、趣味の活動を活かして、地域での役割に繋げていく取り組みを行っています。活動の1つにエコキャップの選別・洗浄があります。

集めたエコキャップは外国の子どものワクチンになります。



わたしには認知症の祖母がいます。認知症の症状は人それぞれですが、軽い物忘れのような症状からだんだんと進行していきます。

祖母の場合、ほんの数分前に話していたことを覚えていないということが増えてきたなあと思っていたら、だんだんと自分の家族や住んでいた家もはっきりと分からなくなってきました。自分の家にも「家に帰って家族にごはんを作らなきゃ。」と言い、外へ出て行こうとすることが何度もありました。家族が寝ている間に家を出て、あてもなく歩き回り、警察のお世話になったこともあります。

幸いその時は親切な方が、パジャマ姿のまま一人で歩く祖母に気づき、警察に連れて行ってくれたので無事家に帰ってくることができました。一目見ただけで、その人が認知症かどうかは、なかなか分からないと思います。

でも、もし身近で困っている人がいたら、声をかけるだけでも安心させてあげることができるので、恥ずかしがらずに声をかけてあげてください。

(南知多町在勤 30代 H.M)

## 1. はじめに

このハンドブックで、私たちの住む町で暮らす、障害がある人の日頃の様子を少し知ることができました。また、障害がある・ないに関係なく、得意なこと・苦手なこと、できること・できないことは、人それぞれであることも学びました。

もし、災害(火事や台風、地震など)が起きたとき、高齢者や妊娠している人・障害がある人などは、さまざまな困難に直面してしまうため手助けや気遣いが必要になります。

また、「大事な情報が伝わらない、うまく伝えられない」「とっさに動けない」「移動が難しく一人では避難できない」など、困ると同時にとても怖い思いもします。

大きな災害が起きたら、命の危険も大きくなります。私たち自身も、助けが必要になるかもしれません。だからこそ、あいさつなど、ふだんから周りの人とのつながりが大切になってきます。

自分や家族の安全が守られ、心の余裕ができたなら、周りを見て考えてみましょう。

「困っている人はいないかな?」そして「自分に何ができることはないかな?」と。

## 2. 災害が起こったらどうしたらいい?

まず、一番大切なことは「自分の命は自分で守る」ことです。「家族以外にも手助けが必要となる人はいないか?」「地震が起こる前にどんなことを準備しておけばいいか?」など、家族みんなで話し合っておくことが大切です。次に、みなさんに考えていただきたいことがあります。例えば地震が起きたとき、家の中や学校・道などがどうなっているのか?イメージしてみてください。



★自宅が一番安全な場所はどこ?

★家族との連絡はどのようにする?

★自分が避難する場所はどこ?

★近所に手助けが必要な方はいないか?

★避難する場所に行く道は知っている?



★家族で話し合ってみましょう!また、話し合った内容を書いておきましょう。

じしんはっせいじ ちいき  
地震発生時の地域の様子



地震や津波、台風のような大きな自然災害は、その地域に住んでいる障害がある人、ない人すべての人々におそいかかってきます。その時、まずは避難すること・逃げるのが重要になってきます。

3. 災害が起きた時、お年寄りや障害のある方が困ること

**肢体不自由**  
(病気やケガで体が動かしにくい方)  
車いすや杖を使っている人は、道に物が散らかっていたり、倒れてきた家具で通路がふさがれていたりして、逃げるのが難しいことがあります。

**聴覚障害**  
(耳が聞こえにくい方、聞こえない方)  
自分の命を守るための緊急車両のサイレンの音、緊急地震速報、防災無線、スマートフォンの文字情報などを得ることが、とても難しくなります。

**神経発達症(発達障害)**  
(他の人より学ぶことや、集中することが少し難しかったりする障害)  
災害が起きたことに気づきにくかったり、危ないことに気づくのが遅れてしまうことがあります。どうしていいかわからなくなり立ちどまってしまうこともあります。

**精神障害**  
(気持ちが落ちこんだり、不安が強くなるなどの障害)  
危険を感じることもできても、不安が大きくなりすぎてどうしていいかわからなくなり、一人では逃げることや、助けを求めることができないことなどがあります。

**視覚障害**  
(目が見えにくい方、見えない方)  
周りの様子が分かりません。「割れたガラスが床一面に広がっているかもしれない」「タンスが倒れて出入り口をふさいでいるかもしれない」など、不安で一步も動けなくなることがあります。

**お年寄り**  
(65才以上の方)  
体が思うように動かなかったり、考える力が衰えたりすることがあります。そのため一人で逃げるのができなかつたり、避難が遅れたりしてしまうことなどがあります。

## 4. 避難所の生活について

災害が起きたとき、各町の学校や公民館、体育館などが避難所となることが多いです。災害発生直後は多くの人がそこに一気に集まります。その中には、病人、けが人、お年寄り、障害がある人（配慮がいる人）、子ども連れ、外国人などいろいろな人がいます。また、元気に自立した生活ができているかのように見える人でも、避難生活が長くなってくると、体調を崩す人が増えてきます。時には命を落とす方もいます。避難所では、避難して来た人たちみんなで協力し、助け合うことが大切です。例えば、「声かけ」「物資を配る手伝い」「小さい子どもの遊び相手」「乾燥予防の霧吹き」など、できることはたくさんあります。



【出典:いわて震災津波アーカイブ／  
提供者:特定非営利活動法人津波太郎】



★避難所では、みんなが生活しやすくするための工夫が必要です。避難所で、あなたはどんなことができると思いますか？書き出してみましょう！

-----  
-----  
-----



## 5. みなさんへのメッセージ

大きな災害が起きたとき、各市町村では被害にあった人を支援するために災害ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動を支援します。実際にそこでボランティア活動をした方からのメッセージです。

令和6年1月1日に起きた能登半島地震では、地震や土砂崩れ、津波によって、多くの人が亡くなったり、ケガをしたり、家を失ったりしました。私はそんな状況を見て、何かできることはないかと思い、災害ボランティアに参加しました。

現場では、壊れた家から大きな仏壇を、一緒に参加したボランティア5人と一緒に運び出す作業を行いました。仏壇が重く、とても



大変な作業でしたが、少しでも早い復興のため、さらに力を入れて [仏壇運び出しの様子] 頑張らなくてはと思い、みんなで協力して運び出しました。

能登半島が少しずつ復興していく中で、私ができることは小さなことかもしれませんが、これからも災害にあわれた方の助けになれるように努力していきたいです。この経験を通じて、人々が支え合うことの大切さを学びました。災害はいつどこで起こるかわかりません。いつも助け合いの心を忘れないようにしたいと思います。

(武豊町在住 男性)



: 合理的配慮マーク

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.



# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.



# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.



## IX マーク

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| オストメイトマーク   | ほじょ犬マーク  | <small>しんたいしょうがいしゃ</small><br>身体障害者<br><small>ひょうしき</small><br>標識                    | <small>ちようかくしょうがいしゃ</small><br>聴覚障害者<br>標識   |
|                |   |    |   |
| <small>こうもん</small><br>人工肛門・人口ぼうこう<br>を使用している方の<br><small>せつび</small><br>ための設備があること<br>を表しています。 | <small>しんたいしょうがいしゃ ほじょけんほう</small><br>身体障害者補助犬法<br>を啓発するマークです。   | 身体に障害がある人<br>が運転していることを<br>表しています。   | 聴覚に障害がある人<br>が運転していることを<br>表しています。   |
| <small>こうれいうんてんしゃ</small><br>高齢運転者<br><small>ひょうしき</small><br>標識                                | 障害者のための<br>国際シンボルマーク   | ハートプラスマーク  | ヘルプマーク   |
|              |   |  |   |
| 高齢者(70歳以上)が<br>運転していることを表し<br>ています。   | <small>りょう</small><br>障害がある人も利用で<br>きるようにつくられた<br><small>たてもの</small><br>建物の入り口、トイレ、<br><small>ちゅうしゃじょう</small><br>駐車場などについてい<br>ます。 | <small>ないぶ</small><br>内部障害がある人を<br>表しています。   | <small>きそく じんこうかんせつ</small><br>義足や人工関節を<br>使用している方、<br><small>ないぶ なんびょう</small><br>内部障害や難病の<br><small>かた にんしんしよき かた</small><br>方、妊娠初期の方な<br><small>えんじよ はいりよ</small><br>ど、援助や配慮を必<br>要としている方を表し<br>ています。 |

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p>もうじん<br/>盲人のための<br/>国際シンボルマーク</p>   | <p>耳マーク</p>   | <p>ひつだん<br/>筆談マーク</p>  | <p>手話マーク</p>   |
|                       |          |                          |                     |
| <p>しかく<br/>視覚障害がある人の<br/>ために配慮された施<br/>設・建物・機器などに<br/>つけられています。</p>                                    | <p>聞こえが不自由なこ<br/>とを表しています。は<br/>っきり口元を見せて<br/>話したり、筆談をする<br/>などの対応ができる<br/>ことも示しています。</p> | <p>そうご<br/>相互に紙に書いてい<br/>るコミュニケーション<br/>の様子を表現。「筆談<br/>で対応をお願いします<br/>」「筆談で対応しま<br/>す」という意味を持ち<br/>ます。</p> | <p>5本指で手話を表す形<br/>となっており、輪で手の<br/>動きを表現しています。<br/>「手話で対応を願い<br/>ます」「手話で対応し<br/>ます」という意味を持ち<br/>ます。</p> |
| <p>マタニティマーク</p>  |   |  |  |
|                     |   |  |  |
| <p>にんさんぶ<br/>妊産婦(赤ちゃんがお<br/>なかにいるお母さん)<br/>が交通機関等を利用<br/>する際に身につけるこ<br/>とで、周囲が配慮しや<br/>すいようするものです。</p> |   |  |  |

# 社会福祉協議会ってどんなところ？



[社協のシンボルマーク]

## 1. もっと詳しく知りたいな・・・と思ったら

このハンドブックを活用し、実際に障害がある人との出会いの中で、どんなことを考え、思いましたか？

ハンドブックで紹介した人や道具(自助具)・コミュニケーション方法等をもっと詳しく知りたいと思った時は、ぜひ「社会福祉協議会」へ連絡してみてください。私たちの住んでいる知多南部のまち、南知多町・美浜町・武豊町には、それぞれの町に1つずつ社会福祉協議会(「社協」と短く呼ばれることもあります)があります。

## 2. 社会福祉協議会って何をしているところ？

社会福祉協議会は、障害があってもなくても誰もが自分や相手の想いを大切に、安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域のみなさんと共に、いろいろな仕事を行っている「まちの福祉の何でも屋さん」です。

## 3. 例えば、こんな取り組みを行っています ～知っているものはあるかな？～

- 車いすの貸し出し
- 生活の中で「困りごと」の相談
- 小・中・高等学校での「福祉実践教室」の開催
- ボランティア体験
- ボランティアの紹介
- ホームヘルパーの派遣
- 防災・減災活動の取り組みや、被災地支援
- 地域の人が気軽に集まれる場づくり(サロン、カフェ等)
- 子ども会のお手伝い・・・など

社会福祉協議会は、その町に合った独自の取り組みもいろいろ行っています。

もっと知りたい人は、ホームページで調べたり、直接見学に行ってみてください。



ボランティア体験での障害がある方との交流



地域の身近な場所で、子どもと高齢者が交流



## 南知多町なら・・・ 社会福祉法人 南知多町社会福祉協議会



住所:〒470-3412  
知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘1  
(南知多JA会館内)

電話:(0569) 65-2687  
FAX:(0569) 65-2913  
Eメール:info@minamichita-shakyo.jp

ホームページ:  
右の二次元コードよりアクセスして  
ください。



## 美浜町なら・・・ 社会福祉法人 美浜町社会福祉協議会



住所:〒470-2403  
知多郡美浜町北方一丁目1番地  
(美浜町福祉センター内)

電話:(0569) 83-2066  
FAX:(0569) 82-5160  
Eメール:info@mihama-shakyo.or.jp

ホームページ:  
右の二次元コードよりアクセスして  
ください。



## 武豊町なら・・・ 社会福祉法人 武豊町社会福祉協議会

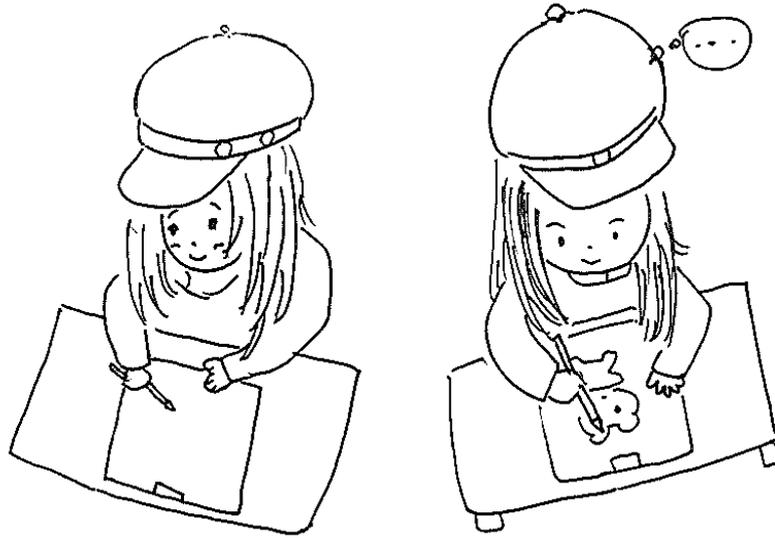


住所:〒470-2392  
知多郡武豊町字長尾山2  
(武豊町思いやりセンター内)

電話:(0569) 73-3104  
FAX:(0569) 73-8377  
Eメール:info@taketoyo-shakyo.com

ホームページ:  
右の二次元コードよりアクセスして  
ください。





このハンドブックで使われているイラストを<sup>えが</sup>描いているわたし。  
絵を描くことが好き<sup>す</sup>なわたしは、みなさんのお役に立てたかな……。  
描いている間にもっと描くことが楽しくなってきました。

ペンネーム ちび@yūko

## 編集協力団体・編集協力者（敬称略）

- ・南知多ユニバーサルビーチプロジェクト
- ・NPO 法人 チャレンジド
- ・いっぽの会
- ・知多地区聴覚障害者支援センター
- ・手話サークル「おれんじ」
- ・文字 de サポートみはま
- ・手話サークル「さざんか友の会」
- ・要約筆記たけとよ
- ・南知多町手をつなぐ育成会
- ・美浜町手をつなぐ育成会
- ・ゆめこまち
- ・多賀授産所
- ・知多南部地域自立支援協議会  
精神障害啓発チーム
- ・視覚障がい者ガイドボランティアサークル  
さくらんぼの会
- ・あいこむ/EyeCOM
- ・医療法人 瑞心会
- ・社会福祉法人 瑞祥
- ・ゆめすけ
- ・自助具たけとよ
- ・南知多町認知症キャラバンメイト事務局
- ・美浜町認知症キャラバンメイト事務局
- ・武豊町地域包括支援センター
- ・美浜・南知多防災の会
- ・武豊町防災ボランティアの会
- ・南知多町ふくし課
- ・美浜町福祉課
- ・武豊町福祉課
- ・南知多町教育委員会
- ・美浜町教育委員会
- ・武豊町教育委員会
- ・知多南部地域自立支援協議会啓発部会
- ・社会福祉法人南知多町社会福祉協議会
- ・社会福祉法人美浜町社会福祉協議会
- ・社会福祉法人武豊町社会福祉協議会
- ・日本福祉大学 学長 原田正樹

## 資料提供

日本点字普及協会  
国立障害者リハビリテーションセンター（発達障害情報・支援センター）  
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会  
日本福祉大学地域研究プロジェクト  
武豊町防災ガイドブック  
中部盲導犬協会  
なごや楽走会

## イラスト

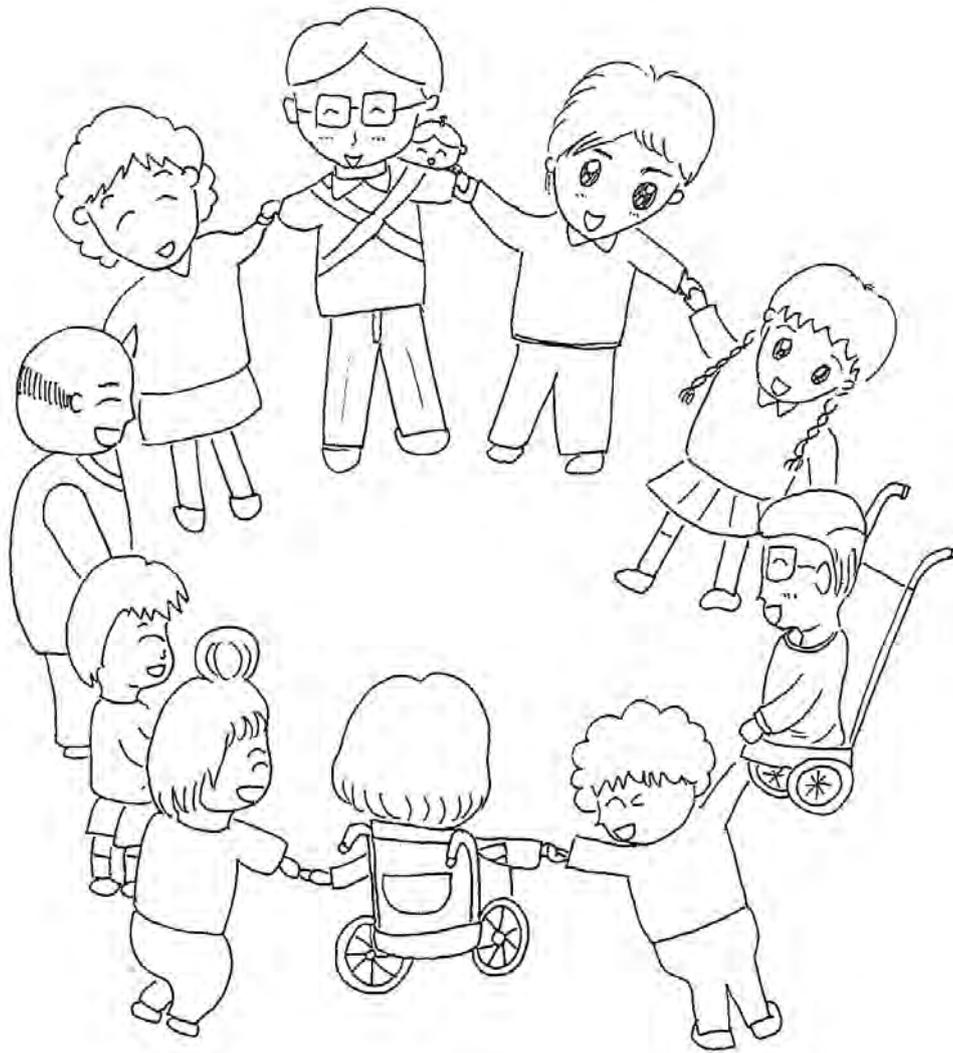
ちび@yūko 他

## 発行

社会福祉法人南知多町社会福祉協議会  
社会福祉法人美浜町社会福祉協議会  
社会福祉法人武豊町社会福祉協議会

令和7年度 第14版

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



仲間

☆みんながが  
 ☆みんながさし  
 ☆みんなのし  
 ☆みんないしよ

|     |   |    |  |
|-----|---|----|--|
| 学校名 |   |    |  |
| 年   | 組 | 名前 |  |